

「あおもり縄文スクエア」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
AOMORI JOMON SQUARE	”あおもり縄文広場“ 縄文ファンが集い知識を深め交流する処をイメージしました!
AOMORI JOMON SQUARE あちゃっこ	縄文遺跡群が青森県内のあちらこちらにあることから、津軽弁の「あっちゃこっちゃ」を由来として「あちゃっこ」としました。子供からお年寄りまで親しめるように平仮名です。AOMORI JOMON SQUAREについては外国の方から見てどんな場所かわかりやすいように英語を取り入れました。
AOMORI J-SQUARE	グローバルを見据えた愛称として今回のような愛称をつけました。「J-SQUARE」の「J」は「JOMON」だけでなく「JAPAN」もかけています。青森県から世界へ縄文を発信するグローバルなひろばになることを願っています。
AOMORI縄文スクエア	「縄文」と「スクエア（広場）」を組み合わせて、命名いたしました。青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する広場という意味で命名いたしました。
AOMORI縄文スクエア『どんだば』	『どんだば』には、縄文遺跡群情報発信拠点施設にきたことで『驚き』や『どうなっているんだ』といった体験ができるということを津軽弁で表現しました。また、青森をAOMORIにすることで国外の方が立ち寄りやすく(検索しやすくする目的があり)、県民のみならずたくさんの方が気軽に足を運んでもらえるようにと願いを込めてスクエア(公園)という意味も込めました。
JOMONスクエア あおもりのWA	WAは古から続くDNAが輪のように連なるイメージと、縄文土器の縄目模様、津軽弁の私である「わ」をかけてあります。縄文時代から受け継がれる歴史を持つ私たち一人一人がその素晴らしさを未来へと伝えていこうという願いを込めました。
あおもり縄文square マホローバ	あおもりの縄文文化を世界中の人々に知ってもらい、覚えやすいネーミングと訪れた人の記憶に残る場所にしたいから
あおもり縄文スクエア	「縄文」と「スクエア」を組み合わせて、命名いたしました。青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する広場という意味で「あおもり縄文スクエア」と命名いたしました。
あおもり縄文スクエア	地名と縄文はそのまま繋げて、広場の意味をする英語「スクエア」を最後に付け足しました。「スクエア」を「プラザ」にもしようと考えましたが、藤崎に「スポーツプラザ」があるので、ネーミングが一緒になるのは避けた方が良いと考えました。
あおもり縄文スクエア JOMONETジョモネット	世界遺産【北海道・北東北の縄文遺跡群】とは、縄文文化に形成された集落のネットワーク。JOMON networkの略で『JOMONET』ジョモネット。
あおもり縄文スクエア ジョジョモコ	「縄」文遺跡群の「情」報を「も」っと「こ」こから、という意味を込めて、頭文字から「ジョジョモコ」としました。

あおもり縄文ハピネススクエア	青森県に来ていただき、縄文時代を知ることによって、今現代の素晴らしさを実感できる場所として名付けました。皆が集まり幸福・安心できる場所です。
青森・縄文スクエア	「縄文」と「スクエア（広場）」を組み合わせ、命名いたしました。青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する広場という意味で「青森・縄文スクエア」と命名いたしました。
青森縄文SQUARE LAJOMON	LOVE+AOMORI+JOMON でラ・ジョーモンとしました。古代青森縄文世界への入口（門）となり、縄文の愛を、縄文の愛を受け継ぐ青森の愛を世界中に広げていく。そんな素敵な皆に愛される場所になれたらと思う。
青森縄文スクエア	シンプルにわかりやすくしました。よろしくお願いいたします。
縄文スクエアAOMORI	【縄文】と【スクエア（広場）】を組み合わせ、命名いたしました。青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する広場という意味で命名いたしました。
縄文スクエアあおもり	「縄文」と「スクエア（広場）」を組み合わせ、命名いたしました。青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する広場という意味で「縄文スクエアあおもり」と命名いたしました。
縄文スクエアあおもり OMOCHE	AOMORIとJOMONに共通するOMOは入れたいと思いました。遺跡って面白い！を発信する場所(訛ると「おもしろごと」)、そして、面白いが集まる市場(MARCHE マルシェ)のような楽しい空間になるのでは？という思いから発想を得てOMOICHE(オモシェ)です。日本人だけでなく海外の人にも楽しめるような素敵な施設になりますように。